

出雲芸術アカデミー音楽研究院
マエストロの特別主位研究講座 2022

ヴァイオリン奏者・高畑壮平氏を お迎えして

ドイツのオーケストラで長年コンサートマスターを務め、コンサートと劇場音楽、教会音楽に精通した高畑壮平氏を講師に迎え、出雲フィル創設25周年記念演奏会に先立って本年度初の特別主位研究講座を前編・後編の2回のワークショップとして開催いたします。

芸術監督・指揮者 中井章徳



テーマ

**「日本のクラシック音楽の演奏には何があり、何が足りていないのか。
ドイツの音楽教育との比較 —〈フレーズ作り〉とは何であるか—」**

ドイツ語で「Gestaltung : レイアウトする。設計する。形を成す。」と言われる作業。氏は「日本には、フレーズ内の音達を使いレイアウトする作業の出来る音楽家が非常に少なく、この作業が演奏に含まれることを教える先生になかなかお目にかかれない。日本においては気がつき難く、この最初の一步さえ実践に至っていないように思われる。」と語る。

今回の特別主位研究講座は氏の情熱と経験を具現化するワークショップ。そこには、唱歌のような誰でも知っている平易な曲を「心に響く演奏」にするための魔法のエッセンスがあると言う。

高畑壮平氏のメッセージ

欧米の話し言葉では一つのフレーズ内には<必ず>重心があるように音楽にも同じように重心がある。これをやることによって音楽がどんなに豊かなものになるかを示したい。私はこの内容を実際の演奏に反映させるための技として示していきたいのです。それによって普段の練習方法も変わってくると思います。

現在もドイツに在住し、演奏活動を行っている高畑壮平氏がドイツの音楽事情を語る「音楽講話コーナー」(第2回で開催)では、質疑応答や参加者との対談時間も設けられています。

第1回 : 〈フレーズ作り〉～実際の演奏に反映させるための技
第2回 : 〈言葉の力学〉と〈音楽の力学〉 / ドイツの音楽事情

日時 : 第1回 9月16日(金) 19:30 - 21:30
第2回 9月20日(火) 19:30 - 21:30
会場 : 交流会館 第2アンサンブル室

参加資格：「本講座に興味のある方」（演奏の可否、レベルは問いません）

第1回：器楽演奏を通じたワークショップ

〈フレーズ作り〉～実際の演奏に反映させるための技

※普段演奏される楽器（リコーダー等でも可）をご持参ください

第2回：コトバのある作品から繙くワークショップ

〈言葉の力学〉と〈音楽の力学〉／ドイツの音楽事情

～神在ガラコンサートへ向けて

日 時：第1回 9月16日（金）19:30-21:30

第2回 9月20日（火）19:30-21:30

会 場：出雲交流会館 第2アンサンブル室

定 員：20名程度

参加費：1回1,200円 / 両方（2回）受講は2,000円

※事前申し込みが必要です。

※どちらか1回だけでもご参加いただけます。

※リモート受講（配信）はありません。



高畑壮平（ヴァイオリン）

12歳よりヴァイオリンを始め、故木村義之氏に師事。

岡山朝日高校卒業と同時に東京芸術大学音楽学部ヴァイオリン科入学、同大学院（修士課程）修了。1979年、ドイツ、ヒルデスハイム市立歌劇場コンサートマスターに就任、同時にハノーファー国立音楽大学ヴァイオリン科ソリストクラスで研鑽を重ねる。1982年から2017年9月まで州立南ウエストファーレンフィルハーモニーの第一コンサートマスター、2017年10月から2021年まで岡山フィル首席コンサートマスターを務める。ドイツ国内に留まらず、オランダ、ベルギー、フランス、スイス等、ヨーロッパ各地に客演し、高い評価を得る。

ウエルナー・ホイトリック（ハノーファー）、サシュコ・ガブリロフ（ケルン）、エリザベート・バルマス（パリ、リヨン）に師事。

2022年、出雲フィルハーモニック特別首席客演コンサートマスターに就任。

■申込方法 お問合せ先■

メールでお申し込みください

メール：kimura.eri.iaa@gmail.com

（担当 木村恵理/出雲芸術アカデミー音楽研究院研究主事）

次の内容をお知らせください

- ①お名前 ②お電話番号
- ③所属（iPhil 音楽家ネットワーク／オーケストラ・レパートリー／アクティング・クワイア／本科／アカデミー事務局、財団職員／その他）
- ④受講日

■参加費支払い■

当日、受付でお支払いください

主催/出雲芸術アカデミー音楽研究院音楽芸術表現法研究会
協力/出雲芸術アカデミーiPhil 音楽家ネットワーク
お問合せ/070-5300-0349 kimura.eri.iaa@gmail.com（木村）